

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 R&D グループ R&D 企画部 (主任)

三田 智子

出身大学・卒業年度：奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 2010年 博士課程後期修了
博士論文タイトル：野生種スイカ (*Citrullus lanatus* sp.) における余剰エネルギーに対する光合成電子伝達系の制御機構の解析



現在の仕事について

◆担当職務・現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容・そこでのやりがい

入社後4年間は、葉たばこ研究所にて研究員としてたばこ新品種の開発などに従事していました。そこでは、自分自身でプロジェクトを立ち上げ、メンバーと一緒に結果を出していく、というすべてのプロセスがやりがいでした。

現在はR&D企画部に所属し、たばこの研究開発や技術開発を行うR&Dグループの総括業務を行っています。今はまだ仕事を覚えるだけで精一杯ですが、R&Dグループがより良い成果を出すためのお手伝いできれば、と思っています。

◆現在の会社・組織(アカデミアを含む)の魅力

やりたいと思ったことを比較的自由にできる、また自分の意見を言いやすい環境だと思います。

◆現在の就職を決めた理由

自分がやっている仕事(研究)が社会経済に貢献するという直接的な実感が欲しかったので、企業への就職を希望しました。

JTに入社したのは、面接時に感じた社内の雰囲気がアットホームで飾り気がなく、自分に合いそうだったことが決め手です。実際に入社してみると感じた通りの企業風土で、今のところはのびのびと自分らしく毎日を過ごしています。

◆将来設計(描けるキャリアパス)・挑戦したいと思っていること

今の段階で私はまだ明確なキャリアプランを決めていませんが、海外出張やJT Internationalのメンバーとの長期研修を経験したことで、最近では「海外で働く」という選択肢にも現実として興味を持ち始めています。

◆社会人として一番感動したこと

尊敬している先輩に仕事面で認めてもらえた時。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

まだそれほど大きな困難に直面したことはないですが、悲観的にならずに楽しんで困難に立ち向かえれば良いなと思います。

◆仕事のプロになるコツ

人からの受け売りですが、「物事の本質を見る」「自分の意見を持つ」「柔軟性・謙虚さを忘れない」などはどんな仕事をする時も大事なことだと思います。

◆博士力、どこで発揮していますか?

研究に関する基本的な知識や経験は、もちろん日々の研究業務に活かされていましたが、学生の時の研究内容そのものが直接業務に役立つことはほとんどなかったように思います。それよりも、学生時代に厳しく鍛えられた「一つのことに対して深く考える」「物事を論理的に考える」「自分の考えを持つ」「相手に伝わるように説明する」といったような力の方が、入社後の自分の強みになっていると感じています。

人生について

◆何のために働くのですか?・ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

根本的に考えると、生活費を得るためです。しかし、仕事をする上での私のモチベーションは、お金というよりも、仕事がかうまくいった時に周りの人と一緒になって喜べる達成感・充実感や、もっとこんなことをしてみたいというワクワク感などだと思います。

◆ワークライフバランスで工夫していること

勤務時間中は集中して仕事に取り組み、なるべく残業せずに効率的に仕事を終わらせるようにして、夜は自分の好きなように過ごす時間、というようにメリハリを意識しています。

後輩へ

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること

不自由なく自分の意見が言える程度まで英語を話せるようになること。

研究だけでなく、もっと世の中に興味を持つこと。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

今の環境を精一杯楽しんで過ごしてほしいと思います。

連絡先 E-mail: satoko.sanda@jt.com